

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：たいせつ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：高橋雪乃	定員（利用人数）：29名
所在地：〒221-0823 横浜市神奈川区ニッ谷町6-3 メゾン・ド・ビー・フロント1F	
TEL：045-624-8836	ホームページ： http://www.taisetsu-hoikuen.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2016年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：合同会社 TAISETSU	
職員数	常勤職員：13名 非常勤職員 7名
専門職員	（専門職の名称）名 園長 1名
	保育士 11名 栄養士 1名
	調理員 2名
施設・設備の概要	（居室数） 3室
	（設備等） 給食室・事務室など

③理念・基本方針

<p>〈理念〉</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもの人権や主体性を尊重し最善の利益を守ります。・子どもにとってふさわしい生活の場、安心して過ごせる保育園であるよう務めます。・自分をたいせつにする、みんなをたいせつにする、全てをたいせつにする温かい心を養い 心身共に健やかに成長するよう援助します。 <p>〈保育方針〉</p> <ul style="list-style-type: none">・何があってもくじけない竹のようなしなやかな気持ちを育てよう。・転ばぬ先の杖 ではなく転んだ後の知恵をたくさんつけられるよう先回りをせず待てる保育をしよう。

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>2歳児クラスまでの乳幼児認可保育園です。29人定員で規模も小さく家庭的です。横浜駅からほど近くにありますが 近くには大きな公園をはじめ 様々な特色をもった公園や地区センターもあり 子どもたちを育てるのにとっても充実した地区にあります。</p> <p>室内は木材を使用しており マンションの1室ではありますが ログハウスやロッジのような居心地の良い作りで、クラス毎にお部屋としてのスペースを確保しながら 全体がつながっているような間取りなので 開放感もあり、子どもたちはクラスを自由に行き来し兄弟のように過ごしています。</p> <p>給食室も保育室に隣接しており 調理の過程を身近に感じられ食育の一環を担ってい</p>
--

ます。
一人ひとりに寄り添い 気持ちを受けとめ 見守ったり背中を押したり 時には職員も迷ったりしながら日々を重ねています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 8月 14日（契約日） ～ 2024年 2月 20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2018年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆子どもたちは職員の丁寧な見守りの中で安心してのびのび健やかに過ごしています

保育室には木がふんだんに使われ、温かみを感じるワンフロアの園は調理室から野菜を刻む音が聞こえ、美味しそうな匂いがしています。3クラスが互いの気配を感じながら家庭のような環境の中で過ごしています。保育士は子どもたちの思いを先回りせず、じっくり最後まで話を聞いて、十分に受け止め、マイナスな気持ちも言えるように背中を押す時もあります。職員は常に穏やかな優しい声で話かけ、発達状況や家庭環境に配慮した関わりをして、信頼関係を築いています。子どもたちは見守りの中で安心して、公園でも好奇心のおもむくまま、活発に好きな遊びを楽しみ、友だちと関わり、保育士に甘えています。また、基本的な生活習慣についても保育士が行う手洗いや衣服をたたむ、おもちゃを片付けるなどの姿を見て、自然と身につけていきます。保育士はやりたくない気持ちも尊重しつつ、子どもが自分から取り組みたくなるタイミングを逃さないように接しています。子どもたちは自分の思いを素直に言葉や表情で表し、保育室内でも戸外でも安心してのびのび健やかに過ごしています。

◆職員は、連携して子ども一人ひとりを大事にした保育をしています

園は基本理念、行動規範を示し、基本的人権の尊重に重きをおいた園独自の倫理規定を設け、読み合わせを行い、職員に問いかけています。また、「信頼される保育士をめざして」を策定し、意識向上に努め、折にふれ、職員に確認しています。このような取組から、保育士は子どもの様子を丁寧に見守り、子どもの発達状況や家庭環境を考慮した上で、一人ひとりを尊重する保育を行っています。個々の子どもの状況は午睡時間や会議等で、全職員で共有し皆が同じ対応ができるようにしています。クラスの話し合いでは、一人ひとりの子どもの様子を細やかに見たいうえで、指導計画が子どもの姿に沿っているかを評価し、柔軟に見直して、一人ひとりに合わせた対応をしています。また、調理員は調理室から保育の様子を知ることができるので、子ども達の見ていた絵本の内容に沿って型抜きをした野菜を出すなどして、子どもたちと共感しています。また一人ひとりの喫食状況や体調に合わせた、きめ細かな配慮のある食事を提供しています。職員は一人ひとりの子どもの人格を大切にするという方向性を共有し、常に連携して保育しています。

◆保護者と共に子どもの成長を喜べるようにしています

園は園だよりやクラス懇談会、保育参加などで園の保育について、理解されるように努め、個人面談や毎日の連絡帳などで個別に子どもの成長を保護者と共感できるようにしています。今年度からは「せいちょうのあしあと」として、毎月クラスのドキュメンテーションを作成し、担任がコメントを記載、保護者からのコメントももらって回収し、個人別に綴じて卒園の際に渡す事にしています。栄養士も「給食ドキュメンテーション」を隔月に作成し、一人ひとりの喫食状況などを記載して保護者とやり取りを行っています。このように保護者と共に、成長を喜び、子育てが楽しいものと

感じられるようにしています。

◆事業の方向性の共有をはかるために中長期計画や単年度事業計画の策定が期待されます

各種マニュアルや手順書が細かに作成されており、この園での経験が豊かな職員が相互に連携を取って、日々丁寧な保育にあたっています。今回の第三者評価のアンケートでも保護者からは高い満足度が得られています。しかしながら、園は中長期計画の策定に至っていません。これから5年後、10年後の社会情勢の変化を鑑みて、園が理想とする一人ひとりをたいせつにする、より質の高い保育を継続していくために、人材育成計画を含めた中長期計画とそれに基づく単年度の事業計画を策定し、職員も運営の一員としての意識を持ち、今まで以上に保護者と連携していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2度目の受審でした。たくさんの項目に 少々困惑しつつも多方面にわたり、立ち止まり、振り返り、そして考えるきっかけになり、とても良い時間になりました。保護者の方々のアンケートも総合満足度が高く、嬉しい結果でした。浮き上がってきた課題にしっかり向き合い、改善できるよう精進して参ります。また、大切にしている事柄も、今後も忘れずに子どもたちの未来のために、子どもたちを取り巻く環境のために、子育て世帯のために、何が出来るのか、どんなことが必要なのかを考えながら役割を担っていきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり